

●発行／九州ミロク会計人会
●協賛／株式会社ミロク情報サービス

九州の風

Winds from Kyushu

vol.115

2026年1月



なべかんむりやま
鍋冠山からの風景（長崎地区会 笠戸 智仁）

低気圧・高気圧

10月に広島で「第49回全国統一研修会 せとうち広島大会」が開催されました。毎年行われるミロク会計人会の一大イベントであり、全国の先生方と情報交換ができるまたとない機会です。いつも顔を合わせる地元の先生方とも場所を変えて美味しい料理やお酒を酌み交わせる貴重なイベントでもあります。

基調講演や分科会も非常に魅力的でした。基調講演ではモーリー・ロバートソン氏が現代をよりよく生き抜くための知恵や広島の文化について示唆に富んだお話をされ、私は心を深く打たれました。その卓越した話術にも魅了されました。私が参加した分科会ではオタフクホールディングス株式会社の会長・佐々木茂喜氏による胸が熱くなる講演を拝聴しました。オタフクソースの歩みや企業経営における哲学、そして従業員への温かい想いを語る姿に深く感動し、周囲の先生方に気づかれぬよう、そっと涙を拭いました。

一日だけの参加でしたが、大満足のイベントでした。来年はゴルフコンペにもぜひ参加してみたいと思っています。今から名古屋大会が楽しみです！

（大分地区会 岩尾 大輔）

通称「なべかぶりやま」と呼ばれ親しまれる鍋冠山。展望台からは、長崎港と長崎市街の景色を一望。「明治日本の産業革命遺産」の構成資産はもちろん、海をはさんで反対側にある稻佐山や、大型クルーズ客船の様子を見ることができます。

contents

新年のご挨拶	2
全国統一研修会の報告	3
会員のひろば	6
システム委員会だより	13
偏西風・編集後記	19



明けまして おめでとうございます

九州ミロク会計人会 会長 筧田 毅



会員の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。旧年中は当会の活動に多大なご協力を賜り、深謝申し上げます。特に昨年10月に開催されました第49回全国統一研修会せとうち広島大会に、九州ミロク会計人会から71事務所、108名の参加を頂き前回の東京大会を上回る結果となりましたことにも、重ねて御礼を申し上げます。今年は名古屋で第50回記念大会となります、ふるってのご参加をお待ちいたしております。

2023年にChatGPTが登場し、その後2年間の生成AIの進歩は驚異的で会計・税務へのかかわりも定型業務の効率化から高度な判断支援へと変化しているようです。国税庁でも事業者の事務負担の軽減(?)や税務コンプライアンスの向上等を図るため取引から会計・税務まで人手を介さないデジタル化(デジタルシームレス)を図ろうとしています。今後、我々事務所の業務効率化は勿論ですが、AIを活用した顧問先の経営支援や会計周辺機器のデジタル化の相談にも対応していく必要がありそうです。会計人会は今年もMJSと連携を図り情報提供に努めてまいります。またAI-OCRやHirameki7等のシステム改善要望もお待ちしております。

今年も会員の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

MJS 九州沖縄圏統括部長 高木 紀彦



新年あけましておめでとうございます。昨年中は大変お世話になりました。社員一同、心よりお礼申し上げます。

さて、「第49回全国統一研修会せとうち広島大会」「第50回九州ミロク会計人会定期総会」には多くの先生方にお集まりいただきまして、無事に終えることができましたことを、あらためて深く感謝申し上げます。

近年、人材不足や業務の複雑化により、迅速な対応や高度な提案力が求められるなど、従来の枠組みを超えた変革が必要とされています。その中で、AIをはじめとするデジタルツールの活用は重要な手段として最も注目を集めています。単なる効率化にとどまらず、データを活用した経営支援や付加価値の高いサービス提供へつなげていくことが、今後の会計事務所にとって大きなテーマとなると思われます。

MJSといたしましては、ITコンサルタントやPMP資格者を増員し、会計事務所と顧問先様のDX化に向けて、さらなるサービスの充実とサポート体制の強化に努めてまいります。皆さまの貴重なご意見を参考に、これまでの経験を活かしながら次世代の会計事務所経営を支えるITソリューションをお届けしてまいります。

本年も変わらぬご支援とご厚誼を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

せとうち 広島大会

エムイレブン M11サミット 明日へのたすき

令和7年10月9日（木）に第49回全国統一研修会 せとうち広島大会が広島市南区元宇品町のグランドプリンスホテル広島にて開催されました。今年の全国統一研修会は、「^{エムイレブン}M11サミット 明日へのたすき」といったサブタイトルでした。

当日の式典・基調講演には、全国から872名の方が参加されました。



基調講演 モーリー・ロバートソン 氏

まずは、午後1時30分からの式典にはじまり、午後2時30分からの国際ジャーナリスト・コメンテーターのモーリー・ロバートソン氏による「今をよりよく生きるために－広島から新しい未来へ－」と題した基調講演へと続きました。

次に開催された分科会は、次の3つでした。

加えて、特別企画も開催されました。



第1分科会「事務所にAIはあるんかあ？～生成AIとの付き合い方を考える90分～」

ミロック会計人会連合会 情報ネットワーク委員会
日本マイクロソフト株式会社 佐々木 真矢 氏

第2分科会「日本の経営2.0を目指して」コーポレートガバナンス＆ファミリーガバナンス オタフクホールディングス株式会社 会長 佐々木 茂喜 氏

第3分科会「伊勢神宮と出雲大社～日本古来の二つの神都をめぐって～」

万九千（まんくせん）神社 宮司 錦田 剛志 氏

特別企画「シースピカで巡る瀬戸内海の魅力を存分に堪能する船上周遊プラン」

私は、第1分科会に参加させていただきました。生成AIの基本的な仕組みや業務への活用方法について、日本マイクロソフト株式会社の佐々木真矢氏による解説と、情報ネットワーク委員によるディスカッションを通じて理解を深める機会となりました。

冒頭では、2014年オックスフォード大学マイケル・A・オズボーン氏の論文にて税理士という



第1分科会 情報ネットワーク委員会



第2分科会 佐々木茂喜 氏



第3分科会 錦田剛志 氏



連合会正副会長会後の記念撮影



山陽高校 和太鼓部“弾”



懇親パーティー

職業は10年後に「消える職業」と言われたものの実際には存続しており、そんな中で生成AIというものが登場してきた話があり、会場で「生成AIを使ったことがある方」の問いかけに多数の手が挙がり、すでに多くの方が生成AIに触れている状況がうかがえました。

次に、日本マイクロソフト株式会社の佐々木真矢氏による生成AIについての説明がありました。検索と生成AIの違いとして、生成AIは大量のデータを学習し、指示（プロンプト）に応じて文章や画像を生成し、目的に合わせて一つの答えと一緒に作っていく点が違うという話がありました。生成AIを効果的に利用するためには、具体的な指示を与えることが重要であり、不十分な場合は追加の会話を仕上げていくということを述べられ、一方で情報漏えい防止など、セキュリティ面への配慮も欠かせない点として強調されました。

続いて、Word・Excel・PowerPoint等と連動する「Microsoft Copilot（コパイロット）」（以下、Copilotと記載）の紹介が行われ、デモ映像を通じて業務効率化の具体例が示されました。挨拶文作成、画像生成、台風接近時の案内メール作成、メールや文書の要約、領収書画像の整理、契約書の更新箇所の確認、Excelデータからのグラフ作成などです。

『Copilot ファースト』『Copilot を使えば仕事が変わります。』と力強く述べられました。

後半のディスカッションでは、情報ネットワーク委員の方々が登壇し、どの業務で生成AIを活用できるか等、実務者目線での意見交換が行われました。そしてMJS 清水直美氏よりACELINK NX-ProにおけるAI活用の取り組みが紹介されました。

最後にこれから生成AIとの付き合い方について再度日本マイクロソフト株式会社の佐々木真矢氏より、生成AIは皆様をサポートする社員の一員として活躍すると述べられました。生成AIは、業界全体の価値を高める可能性を秘めているとされ、具体的には、業務効率化、ミスの削減、人材不足への対応、若手税理士の育成支援、顧問先へのサービス向上といった点を挙げられました。生成AIは税理士業務をなくすのではなく進化させる技術であり、「Copilot」には「副操縦士」という意味があり、一緒に未来を作っていくと述べられて分科会を締めくくられました。

自分自身の事務所業務を考えさせられるよいきっかけとなり、大変勉強になる有意義な分科会でした。

分科会終了後、綺麗な夕日が見えるスポットがあるとのことで、会場であるグランドプリンスホ

日帰りバスツアー



平和記念公園にある広島平和都市
記念碑（原爆死没者慰靈碑）



オタフクソース(株)が運営する Wood Egg お好み焼館にある博物館「おこのミュージアム」



本格鉄板で作るお好み焼き体験

「Microsoft」、「Copilot」、「Word」、「Excel」、「PowerPoint」は、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における商標または登録商標です。



安来節保存会



懇親ゴルフ大会

テル広島の前から海岸沿いの遊歩道を歩いて夕日を眺めに行きました。沈みかけていましたが何とか見ることができました。



撮影：福岡地区会 古賀 照章

懇親パーティーでは、まず、「山陽高校 和太鼓部『弾』」による力強いパフォーマンスが披露されました。続いて大会実行委員長の中畠将博氏による開会挨拶があり、来賓紹介の後、来賓を代表して中国税理士会の小林重道専務理事より田中一宏会長のご祝辞を代読で述べられ、その後、中国税理士政治連盟の井上博夫会長による乾杯へと続きました。

乾杯後は、オタフクソース株式会社様より、「お好み焼」の紹介があり、会場内に設けられた屋台

にて熱々のお好み焼をいただきました。おいしい料理やお酒をいただきながら、全国の会員並びに関係者の方々と親睦を深めました。途中、「安来節保存会」によるどじょうすくい男踊りが披露され、演舞後にはどじょうすくいのレクチャーがあり、会場の参加者も一緒に踊り、大いに盛り上りました。

終盤、協賛会社であるミロク情報サービスのは枝伸彦会長よりご挨拶があり、その後、中部ミロク会計人会の山内今朝男会長と大会準備委員の皆様が来年名古屋で開催される全国統一研修会 中部大会について名古屋の魅力を PR され参加を呼びかけました。

最後に、乗田三秀大会実行委員による締めの挨拶で懇親パーティーの幕を閉じました。

翌日には懇親ゴルフ大会や記念旅行に各自参加されたことと思います。

来年の中部大会は令和8年11月12日（木）に開催されます。来年の中部大会でも大きな盛り上がりがあることを期待しています。

（福岡地区会 古賀 照章）

「せとうち広島大会」の詳細については、右の二次元コードからミロク会計人会ホームページでもご覧いただけます。



2日目 千光寺へ向かうロープウェイ



3日目 倉敷美觀地区の大原美術館



3日目 倉敷川の舟流し



3日目 吉備津神社

北九州地区会 研修会「知っていたら便利！ちょっと得する操作方法！」

実務に役立つ研修会

令和7年9月12日（金）、新小倉ビルにおいて「知っていたら便利！ちょっと得する操作方法！」の研修を行いました。

第一部では講師に九州ミロク会計人会・情報ネットワーク委員長の草野恒史先生をお招きして、時短のために役立つ内容をご紹介いただきました。具体的には

- 決算書類や月次監査の書類など毎回印刷するのが同じ際には「一括印刷」の設定をすることができる。
- 「アラート機能」を使えば役員の任期切れが近づいた時にはシステムが知らせてくれること。



など、実機を使いながらとても分かりやすく説明をしていただき、とても勉強になりました。

第二部ではMJS



社員の皆さんによる実機を使ったシステム体験会を行いました。AI-OCRの性能はもちろんのこと、最新のスキャナーの性能が格段に向上しており、これからの実務に役立つことを確認しました。

研修会終了後はMJSからの参加者5名を含め、計13名の方々にご参加いただき懇親会を行いました。美味しい料理に舌鼓をうち、北九州地区的会員先生方との交流を図りながら、とても楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

（北九州地区会 武内 秀夫）

親睦ゴルフコンペ開催

健康のためにゴルフを楽しむ

北九州地区会の親睦ゴルフコンペが、令和7年9月25日（木）小倉カンツリー倶楽部において開催されました。

恒例の北九州地区会、親睦ゴルフコンペに優勝することができ、大変光栄に思っております。



暑い日が続いていましたが、ゴルフ場には熱中症対策として、クーリングシェルター（冷房休憩所）が6カ所設置されており、体を冷やしながら、またパートナーにも恵まれ、楽しいプレーができました。

スコアは満足できる結果ではありませんでした。しかし、OBが出なかったこと、苦手なバンカーで大たたきしたけれど、ダブルペリアによって救済されたこと、数々の運に恵まれた優勝でした。

令和5年9月に長くプレーしていた小倉支部のゴルフサークル（TA会）を退会し、ゴルフをやめていました。今年1月、テレビで毎週日曜日に放映されている、アップグレードゴルフのレッスンに刺激を受け、ゴルフを再開しました。初心に返って、基本を大切にした練習をしています。

これからは、高年齢を考えながら、健康のためにマイペースで、ゴルフを楽しみたいと思っています。

（北九州地区会 原田 正一）

北九州地区会 懇親ボウリング大会開催

師走初日の盛り上がり！

北九州地区会のボウリング大会が昨年に引き続き、令和7年12月1日（月）午後5時からコロナキャットボウル小倉店にて開催されました。今大会はMJSの社員を含め50名の参加でした。

私は睡眠時間を削ってイメントレを行なったことが功を奏し、優勝を果たすことができました。

ゲーム終了後、小倉北区浅野にある「Bar Air」へ移動し、懇親会が行われました。料理や飲み物は大変おいしく、表彰式やMJSの社員の方々が考案したゲームなど、大変な盛り上がりで皆様と本

本当に楽しい時間を過ごすことができました。

優勝賞品はタラバガニ1キロと九州の風の寄稿をいただきました。

開催の準備と進行、また楽しいゲームや豪華な賞品購入等、お世話いただきました皆様、本当にありがとうございました。

（北九州地区会 仲村 修平）



福岡地区会 恒例のバスハイクを開催

海の幸・山の幸を堪能

福岡地区会恒例のバスハイクが令和7年10月25日（土）に開催されました。

今年の行先は山口県の角島。ちいさな島に掛かる角島大橋は2000年に開通、景観の良さからレクサスをはじめ多くの自動車メーカーが挙ってCMのロケ地として起用、雑誌などでも特集を組まれるなど山口県の新たな名所となっているところです。当日集合場所の博多駅はあいにくの小雨。晴天であれば美しい景色が見えるとの触れ込みでしたのでやや消沈。現地が晴れていることを祈って出発です。



関門橋を渡る前に休憩をいれて山口へ。大橋の近くのホテル西長門リゾートで昼食休憩です。新鮮な海の幸、山の幸を堪能しました。行程上1時間しか時間を取りなかったことは今後の課題とさせていただきます。満腹になったおなかとともにバスが角島大橋へ差し掛かると…。本来であればエメラルドグリーンに輝く海の上を、一本の白い線が伸びるといわれる光景…は、曇り空なため観ることはかないませんでしたが、日本海と響灘が出会うところには確かに一本の筋がはっきりと見えました。エメラルドは次回に期待するとします。

角島に到着した後は、島内を散策。国の重要文化財に指定されている角島灯台に登ると、風が心地よく、各々360度に広がる大海原のパノラマを楽しんだようです。私は以前登ったので今回はPASS。

帰路は、門司港で小休止、いい感じに酔っぱらって熟睡、目覚めた頃には、きれいな夕焼けのご褒美をいただきました。雨は朝だけでしたので大変良い旅でした。

来年はどこにいきましょう。アイデアお待ちしています。

（福岡地区会 東 泰三）

福岡地区会 第34回ボウリング大会開催

歓喜の雄叫びが響きわたる

まだまだ残暑厳しい令和7年9月26日（金）の夕刻、毎年恒例の福岡地区会ボウリング大会がパピオボウルで開催されました。今年の参加者はコロナ禍前に比べるとちょっと少なめの43名。人数が少ない分、豪華賞品をゲットするチャンスが広がったと、スタート前から鼻息荒い腕自慢たちがちらほら見かけられる中、東会長の開会挨拶と力強いストライク始球式を皮切りに、いよいよ熱き大会が幕を開けました。

序盤はストライクが連発したのか、あちこちで歓喜の雄叫びが響きわたる展開。ただ体力が衰えてくる中盤から終盤にかけ、思い通りの投球が出来ずに頭を抱える人が続出。



個人優勝の中原正樹会員



団体優勝のチーム蔵森

前回優勝の東先生も調子が上がらず早々に優勝戦線から離脱するなど、優勝争いは混沌とした状況でした。

ゲーム終了後は、懇親会場である博多百年蔵へ移動。個人個人、成績の良し悪しはあれど、皆一様に清々しい表情で料理を頬張り、日本酒を片手に談笑する光景は、いつ見てもいいものです。

次回は大勢の方が参加されることを期待しています。

（福岡地区会 中原 正樹）

筑後地区会 総勢 20 名で忘年会開催

話題が尽きることなく…

師走初日である令和7年12月1日（月）「さかな家そう馬」において、会員12名に来賓としてMJSから7名、株式会社MJS M&Aパートナーズ（以下 mmap）をお迎えし、総勢20名で忘年会を開催しました。例年は研修会を開催した後に忘年会でしたが、筑後地区での研修会が年1回になりましたので、今回は忘年会のみとなりました。

冒頭、忘年会開始前に役員会を開催し、来年度久留米で開催される九州ミロク会計人会の定期総会時の講演会講師の状況やアトラクションを決定したことを報告し、その後、MJS九州沖縄圏統括部長の高木紀彦氏より、最近のシステムの状況についてのご挨拶があり、続いて mmap の間嶋隆仁氏からもご挨拶をいただきました。

引き続き永松会員の乾杯の発声で懇談が始まりました。美味しい魚料理と美味しいお酒をいただ



きながら、新入会員の自己紹介やシステムについて、また来年の九州会の定期総会のことなど話題は尽きることなく、篝火（かがりび）が灯る夜の庭園に囲まれながら、夜は更けていきました。

最後に、MJS福岡支社長代理の真崎義彦氏がユーモラスな会の締め方で笑いを交えましたが、和気藹々のうちに忘年会は終了し、意気揚々と二次会へ向かいました。

（筑後地区会 長谷 広信）

佐賀地区会 研修会及び忘年会の開催

親睦を図る良い機会

令和7年12月5日（金）ホテルグランデはがくれにおいて、九州ミロク会計人会認定研修会が開催されました。

講師には、MJS税経システム研究所客員研究員で、税理士の渡辺章先生をお迎えし、「消費税における届出実務の再確認～最重要な届出書の取扱いを重点チェック～」というテーマでご講演いただきました。

本研修では消費税実務の中で特に誤りが起きやすい消費税の届出について解説していただきました。届出に係る過去の改正項目やインボイスに係る項目を再確認し、参加者の皆様と有意義な時間を共有できましたことと思います。

佐賀地区会では、例年12月の研修会後に忘年会を開催しております。今回も研修会後に、ホテルグランデはがくれにて忘年会を開催し、研修会



で講師をしていただいた渡辺先生、MJS、株式会社MJS M&Aパートナーズからの参加者8名を含め20名の皆様にご参加いただきました。忘年会では和やかな雰囲気の中、参加者同士の交流を深めることができ、盛況のうちに親睦を図る良い機会となりました。

令和8年度以降も研修会に併せた忘年会を予定しており、1名でも多くの会員に参加していただけるよう努力してまいります。

（佐賀地区会 吉村 耕輔）

大分地区会 日帰りバスツアーを開催

伊勢えびと青空に癒された一日

令和7年9月6日（土）、大分地区会恒例の「日帰りバスツアー」が開催されました。

今回の目的地は、伊勢えび漁が解禁されたばかりの、新鮮で活きの良い伊勢えび料理を甚能できる「伊勢海老街道」佐伯市です。青空のもと、食と歴史と絶景を楽しむ充実の一日となりました。朝、大分市を出発したバスは、穏やかな山沿いの道を進み、最初の目的地「佐伯市歴史資料館」へ。開館10周年を迎えた資料館では、弥生時代から続く佐伯の歴史や文化を学び、地元に息づく人々の営みに思いを馳せました。

昼食はお待ちかねの伊勢えび料理。活きの良い



伊勢えびに皆が笑顔となり、歓声が上がりました。午後は、西日本で唯一見学可能な甘酒工場を訪れ試飲した後、「海の市場○（まる）」では、地元特産の魚介類、干物、特産品などを買いあさり、その後「豊後二見ヶ浦」を訪れ、青く澄んだ空と海上に浮かぶ夫婦岩を背景に記念撮影。自然の美しさと爽やかな潮風に心が洗われました。

バスでは笑い声が絶えず、参加者同士の交流も深まりました。仕事の合間に心身をリフレッシュできた一日となり、「来年もまた参加したい」との声も多く聞かれました。次回の旅で再び皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。

（大分地区会 伊東 哲也）



長崎地区会 恒例の日帰りバスハイクを開催

晴天に恵まれ最高の一日



毎年、恒例の日帰りバスハイクが令和7年11月15日（土）に開催されましたので、参加してきました。当日は小春日和の晴天ばかりで、お出かけに最高のお天気でした。

今回の参加者は2事務所13名、いつもより小さめのバスに乗り込んで和気あいあいとしたいい雰囲気で、長崎駅から出発しました。

今回の行き先である平戸市は私も数年ぶりに行くのでとても楽しみにしていました。

最初の目的地である田平天主堂は、赤煉瓦づくりの教会で風情があってステンドグラスがとてもきれいでいた。みなさん、写真をたくさん撮っておられました。

その後の目的地は平戸城です。城の内部はきれいな映像が流れている場所があったり、歴史を学べる場所があったり、クイズコーナーがあったりと大人も子供も楽しめました。最上階からは城下町と港が見て景色も最高でした。

昼食は天皇皇后両陛下をお迎えするために建設されたという由緒正しいホテル旗松亭（きしょうてい）で、いただきました。とても美味しい海の幸と山の幸がこれでもかというほどたくさん出てきました、みなさんおなか一杯で大満足でした。その後、生月大橋を通って生月島に渡りました。生月島の館では、捕鯨の方法や歴史、かくれキリシタンの信仰を館長さんが分かりやすくご説明してくださいました。生月島では鯨が多い時には年間200頭も捕れていたそうです。

その後、平戸物産館にてカストドースなどのお土産を買って帰途につきました。

今年のバスハイクもとても楽しくいい思い出になりました。MJS長崎支社の皆様、ご協力いただきまして誠にありがとうございました。次回も楽しみにしています！

（長崎地区会 野崎 地平）

研修会・忘年会開催

有意義な時間

令和7年12月8日（月）アルカス佐世保にて「税理士事務所の月次処理について考えよう！～これからのお客様との関与のあり方はこれだ！～」と題しまして、九州ミロク会計人会・情報ネットワーク委員長の草野恒史先生による研修会が開催されました。

会計事務所の月次処理業務を、紙の資料をお預かりして記帳代行を行っている場合、①資料のやり取り②資料の紛失リスク③資料保管場所の確保といった問題があります。これらの問題を、MJSのAI-OCR入力を活用してペーパーレスを推進し、業務の効率化を実現するという点をテーマにした研修でした。具体的な例示を踏まえた非常にわかりやすい（=直ぐにでも実践できる）実務



に即した内容でした。研修後にはMJSの社員によるデモンストレーションもありました。

また、研修会の後は佐世保の老舗居酒屋「さざいづみ」にて、長崎地区会の忘年会が開催されました。烏賊の活き造りを始めとした新鮮な魚介類など、お料理もとても美味しく、有意義な時間を過ごすことが出来て、大変盛り上がった忘年会でした。

（長崎地区会 杉本 忠昭）

熊本地区会 秋のゴルフコンペ開催

念願の初優勝！



透きとおるような秋晴れとまではいかないまでも、久しぶりのゴルフ日和となった去る令和7年10月24日（金）、熊本高遊原カントリークラブにて「熊本地区会秋のゴルフコンペ」が開催されました。

月末が近かった影響でしょうか？常連である腕自慢の先輩方の姿が見当たらないような気もしましたが、少数精銳（多分）での大会は、プレーの合間にカートに表示される順位表をチラ見しながらの舌戦と接戦が繰り広げられる白熱した展開となりました。

特に同スコアで激戦となった2位から4位の争いでしたが、年功序列という大人の対応で丸く収まり、また、ドラコン賞は力自慢の飛ばし屋を退け、安定の女性会員に軍配があがるなど、まさに親睦にふさわしい大会となりました。

最後に私事で恐縮ですが、今シーズン最高のスコアに「ハンディキャップの有効活用」という奇策を駆使し参加4年目にして初めての優勝を飾り、高額賞品を手土産に鼻高々に家路につかせていただきました。

（熊本地区会 倉岡 誠也）

秋のバス旅行を開催

久しぶりの「ふく」

令和7年11月8日（土）秋のバス旅行が開催されました。

数年前に熊本地区会で行った下関、門司方面の旅行での経験を活かし、唐戸市場では、一直線にお目当てのお店へ行き、簡易クーラーにお土産をいっぱい詰め込みました。

期待の「ふく」料理。昼食会場は、伊藤博文公が日本ではじめて食された「春帆桜本店」、座るやいきなり「ひれ酒」を飲み、豪華な料理を満喫しました。



唐戸桟橋から近いけど初上陸の巖流島、413年前の決闘の聖地で関門橋を望めるスポットでの記念撮影など滞在時間は短かったのですが、イメージ以上の体験でした。

車中で、朝第一声の碓塚会長の「私は晴れ女です」を証明する雲ひとつない天気に恵まれ、記憶に残る最高の一日でした。

いろいろな準備をして頂いたMJS熊本支社の皆様に感謝し、来年のバス旅行の行き先を楽しみに、来年も参加出来たらと思っています。

（熊本地区会 畑野 和雄）

研修会 「相続税・贈与税の基礎講座<後編>」

有意義な研修会



令和7年10月15日(水)の午後1時30分から午後4時30分まで、九勸承天寺通りビル2階のMJS福岡支社研修室において、講師にMJS税経システム研究所客員研究員の竹内秀男先生をお迎えして、先月の「相続税・贈与税の基礎講座<前編>」に引き続き、「相続税・贈与税

の基礎講座<後編>」のテーマでの研修会が開催されました。竹内秀男先生には2ヵ月続けて講師を務めていただきました。

また、前回同様、今回の研修も、Zoomを利用したWeb受講と会場来場受講のハイブリッド型研修でした。

研修内容は、前編では、相続税・贈与税の計算、申告、納税等の基本的な事項が中心でしたが、後編では、土地の評価、小規模宅地等の特例、その他財産の評価等の財産評価を中心に講義していました。

主に職員向けの研修でしたが、前編、後編ともに実務を意識した大変わかりやすい研修で職員の方々のレベルアップにつながったのではないかと思います。

(福岡地区会 古賀 照章)

「土地評価の実務 基礎編」

活用術を実務に活かしたい

令和7年12月9日(火)、九州ミロク会計人会にて、株式会社エアミス鑑定の不動産鑑定士、小路恵介先生をお招きし「土地評価の実務 基礎編」が開催されました。62事務所、総勢115名(会場11名・Web104名)が参加し、本テーマへの関心の高さがうかがえました。

相続財産に占める土地の割合は約3割と大きく、正しい申告税額の計算において精度の高い評



価が不可欠です。本研修では、「どのような資料を、どう活用するのか」を実例から学びました。

特に、評価額を左右する情報を得るために、建築計画概要書から接道の状況や利用単位を正確に把握できること、また、インターネットツールを用いた現地調査の事前準備など、不動産鑑定士ならではの専門的な視点からの活用法をご教示いただきました。

今後、相続税申告業務は益々増加することが予想されます。今回の研修で得た精度の高い評価を行うための資料活用術を深く理解し、実務に活かしていくきます。

(福岡地区会 久保田 理恵)

今年度も会員の皆様に改善要望アンケートを取らせていただきました。会員の皆様、たくさんの改善要望を頂き、ありがとうございました。

今年度は、令和7年10月23日と令和7年11月17日の2回、システム開発委員会を開催し、改善要望について検討しました。10月23日には、MJS 福岡支社から提示された特に確認をお願いしたい要望を中心に、実務者目線で要望の内容や意図を吟味し、MJS 開発がアンケート結果に対する回答を作成前に、補完的な情報を開発に提供できるように協議しました。

11月17日には、九州会システム開発委員会とMJS 本社開発担当者との間で、恒例になっていますシステム改善要望検討会を開催し、ピックアップした項目を中心に集中的な検討を行いました。要望の意図を確かめながら、将来に向けて開発の参考となるような協議をすべく努めさせていただきました。また、今後のシステム開発委員会主催研修でも取り扱えそうな内容についても協議しました。

本誌には掲載しておりませんが、MJS 開発から対応不可、参考との回答になっていました内容も

実務的に使用頻度が高いと思われる内容については、再検討を依頼しています。

今回も紙面の都合で「会計大将」「給与計算」「所得税確定申告」「相続税申告書」「顧問先システム」「法定調書」の回答を掲載させていただき、次号(6月号)に他のシステムを掲載します。

紙面の関係上、改善の「対応済」「対応予定」「運用で対応可能」を中心に掲載しております。そこで、今回も全ての改善要望につきまして、質問内容および回答について今春を目指して九州ミロク会計人会のホームページ『会員の部屋』にアップする予定です。

全体は、ミロク会計人会連合会のホームページに、年2回機能追加一覧をアップしています。こちらも是非ご確認ください。

九州ミロク会計人会

<https://www.kyushukai.ne.jp/>

ミロク会計人会連合会

<https://www.mirokukai.ne.jp/>

Q&A の記載方法

NX…ACELINK NX-Pro

◎…対応している
○…対応する予定

■…運用で対応可能
△…調査・検討

会計大将

Q-1 (NX ◎)

複合仕訳をクリックすることで、振替伝票を表示してほしい。

A <MJS 担当支社にて下記の運用・操作をご説明し、要望への対応は完了しています>
振替伝票で入力いただいている場合は、[F4 伝票

表示]にて該当伝票を表示することができます。一方で、仕訳入力でご入力いただいた場合には、現時点では対応しておりません。

Q-2 (NX ◎)

仕訳に請求書等の資料添付できるようにしてほしい。

A <MJS 担当支社にて下記の運用・操作をご説明し、要望への対応は完了しています>

証憑添付が可能です。よくあるお問い合わせ「FAQ 番号：6564」をご参照ください。

Q-3 (NX ○)

A 〈MJS 担当支社にて下記の運用・操作をご説明し、要望への対応は完了しています〉

任意様式の現金出納帳 EXCEL または CSV をインポートして AI-OCR 入力のようなことができないか。

CSV データ取込や汎用データ交換を使用して取込いただく事は可能です。よくあるお問い合わせ「FAQ 番号：8674」をご参照ください。

Q-4 (NX ■)

作成した定型仕訳を入力中、カーソルが摘要欄まで進んだのち、勘定科目や金額を違うものに再入力しようとした際、←キーで勘定科目欄まで戻り勘定科目を修正したのち、エンターキーを押すと、カーソルが摘要欄まで飛んでしまう。再度←キーで金額欄に戻らなければならない。戻しすぎてまたエンターキーを押すと、再度カーソルが摘要欄まで飛ぶ。エンターキーで、通常の入力の際と同様、一つずつ入力欄を進むようにシステムを変更してほしい。

A 行を確定した仕訳につきましては、通常の仕訳修正と同様に一つずつ入力欄を進めて修正いただけ形となります。そのため、修正を行なう際には一旦行を確定してから操作いただく運用をご検討ください。

Q-5 (NX ○)

前年度の仕訳をコピー、当期に貼り付けする時にショートカットキーがほしい。キーボードを打つ回数を減らしたい。

A 〈MJS 担当支社にて下記の運用・操作をご説明し、要望への対応は完了しています〉

コピー：Ctrl + C

貼り付け：Ctrl + V

上記ショートカットをご利用いただけます。

Q-6 (NX ○)

全科目統一の振替設定がほしい。共通部門全てを売上按分振替など。

A 〈MJS 担当支社にて下記の運用・操作をご説明し、要望への対応は完了しています〉

配賦元情報の科目コードにつきましては、「F1 範

囲配賦」機能をご利用いただくことで、全科目を一括して設定することが可能です。

Q-7 (NX ■)

「元帳印刷」→「総勘定元帳」→「出力条件設定」で、出力条件「補助付科目合計転記」に✓を入れた時に補助付だけでなく、部門設定している科目全て合計転記になってしまふので、補助付だけを合計転記で出力できるようにしてほしい。また、「部門別元帳」でも「補助付科目合計転記」設定ができるようにしてほしい。

A 元帳出力の条件指定が複雑化し、既存ユーザーへの影響も懸念されるため、対応予定はございません。つきましては、以下の運用方法をご検討いただけますと幸いです。

- ・元帳出力時の条件指定について
科目指定を分けて実行するなど、運用面での工夫をご検討ください。
- ・部門別元帳における補助付科目合計の転記について
科目出力順序において、部門を採用している科目を指定した順序で作成するなど、運用で対応いただけますようお願いいたします。

Q-8 (NX ○)

口座連携に対応してほしい。

A 〈MJS 担当支社にて下記の運用・操作をご説明し、要望への対応は完了しています〉

bizskyID またはクラウドの AI 仕訳にて連携は対応しております。よくあるお問い合わせ「FAQ 番号：10810」「FAQ 番号：7312」をご参照ください。

Q-9 (NX ■)

仕訳日記帳や元帳などの画面で消費税コードが売上と仕入どちらのコードかわかるような表示にしてほしい。

A 仕訳日記帳であれば「科目欄 4 個コード / 名称優先」にて表示可能です。元帳については出力幅が限られているため、フリーレイアウト（オプション）での対応になると予想されます。消費税名称の追加検討が必要と認識していますが、現時点では今後の開発の参考とさせていただきます。

Q-10 (NX ■)

振替伝票で入力した場合でも、データセンタのや

り取りに付箋のメールマークが付けられて、相手に送信できるようにしてほしい。

A 伝票形式では明細単位で連絡用付箋を貼ることはできませんが、伝票単位（ヘッダー付箋）であれば連絡用付箋を使用できますのでこちらをご利用ください。

Q-11 (NX ○)

AI-OCRについて、レシートを読み込む際に、10%の分と軽減税率8%の分をわけて読み込んで、2行の仕訳として初期セットされるようにしてほしい。

A 〈MJS担当支社にて下記の運用・操作をご説明し、要望への対応は完了しています〉

現時点では本機能はすでに対応しております。レシート内の税率情報を自動判別し、該当する税率ごとに仕訳を分割して表示する仕様となっておりますので、安心してご利用ください。

Q-12 (NX △)

AI-OCR入力の、証憑：クレジット明細について、現在取り込めないクレジット明細（セディナ等）の取込ができるようにしてほしい。

A お手数をおかけしており、誠に申し訳ございません。

現在、対応証憑につきましては、順次確認を行なながら対応を進めております。

なお、現時点で取り込みができない証憑につきましては、該当証憑をご提供いただけますと、弊社内での確認・対応がよりスムーズになります。何卒ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

Q-13 (NX ○)

消費税の入力項目で、少額特例のボタンを採用してほしい。

また、少額特例をとっているかの検証ができるように、なったら助かります。現在は、10,000円以下で経費を検索し、確認しています。

A 〈MJS担当支社にて下記の運用・操作をご説明し、要望への対応は完了しています〉

「消費税の基本情報」画面にて『少額特例適用区分』のチェックボックスをご利用いただくことで、少額特例の適用設定が可能となっております。

Q-14 (NX ○)

固定摘要、付箋の文字数を増やしてほしい。

A 固定摘要につきましては基本仕様のため変更することはできませんが、付箋の文字数につきましては100文字に拡張する対応をいたします。(2025年12月対応予定)

Q-15 (NX ■)

仕訳コピー時に画面に映っている仕訳しかまとめて選択できない点を改善してほしい。

A ご指摘の現象は、画面スクロールするとフォーカス行が連動して移動することより起きております。そのため、マウス操作ではできませんが、キーボード操作(Shiftキーを押しながら行移動してスペースキーでチェック)であれば可能ですのでご利用ください。

Q-16 (NX ■)

2画面にして入力している際に、片方で複合仕訳を入力すると、もう一方で差額が反映されず複合がズレるのを防止または、反映される更新ボタンがほしい。

A 仕訳入力の実績金額の更新は指示欄にフォーカスが戻った時に行われます。更新を同時に（仕訳を更新するタイミングと同時に）更新されたい場合は、「仕訳操作情報」にある「実績金額の更新方法」を『仕訳の更新直後に反映する』に変更してください。

Q-17 (NX ○)

AI-OCRで領収書が外税表示の時に、税込み価格で読み取るようにしてほしい。本体価格のみ読み取られることがある。

A 外税レシートの解析につきましては、すでに対応済みです。今後、本体価格のみが読み取られるレシートがございましたら、該当レシートをご提供いただけますと幸いです。弊社にて確認・調査をいたします。何卒ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

Q-18 (NX △)

ネット購入の領収書で、日付を発行日で認識されることが度々起きる。領収日で認識できるようにしてほしい。

A 領収書に発行日と領収日が存在する場合、領収日を優先する対応を検討しております。

なお、対応にはさまざまなレイアウトの領収書が必要となりますため、問題が発生している証憑につきましては、該当証憑をご提供いただけますと、弊社内での確認・対応がよりスムーズになります。何卒ご理解とご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

Q-19 (NX ○)

AI-OCR で入出金明細も読み取れるようにしてほしい。

A 入出金明細や当座勘定照合表の読み取りに対応いたします。(2025年12月対応予定)

Q-20 (NX △)

証憑ストレージの変更は、顧問先ごとの設定でなく、事務所管理などで一括管理して、選択式にしてほしい。設定が面倒です。

A 顧問先連動を採用している場合、証憑の保管場所を変更後はインストールデータの作成が必要になりますので、顧問先別の設定としています。顧問先連動を採用していない場合は一括での変更が可能ですので対応を検討いたします。

Q-21 (NX ○)

摘要残・補助科目残

補助科目や固定摘要残など細目で残高を確認する時、該当しない(指定なし)などの表示がないため、表示するようにしてほしい。

A 残高一覧表のご要望として回答いたします。

出力条件設定ダイアログの「0円の科目も出力する」にチェックを入れて表示していただければ、0円の種別も表示されますので、こちらでの運用をご検討ください。

Q-22 (NX ■)

入力画面上で、固定資産勘定や、消耗品費等勘定の入力で、減価償却登録が必要で、減価償却システムに登録して、それを会計大将の当該科目でわかるような印マークが添付できたらいいなと思いました。決算時に、決算整理確認をする時に、この物件は、登録したかどうか、いちいち確認するのが、省けそうな気がします。現在私は、入力の摘要に「減価償却登録済み」と入力しているようにはしていますが、

そういう機能ボタンがあれば、それが省けそうな気がします。

A 現状のシステムでは、専用の印マーク機能はございませんが、仕訳入力画面で任意の仕訳に「付箋」を付与することが可能です。この付箋機能を活用いただくことで、仕訳を識別することが可能です。付箋のご利用をご検討ください。

Q-23 (NX ■)

仕訳入力－検証－残高試算表を選択した際は最初に「日付」にカーソルが行くようにしてほしい。

A 「F8 条件指定」を押下していただくことで日付欄移動しますのでどちらをご利用ください。

Q-24 (NX ■)

入力時に、「バランス」ボタンから確認が出来るようにしてほしい(複合入力の貸借バランスが合わないときに、都度、指示の箇所を選択しないといけないのが手間)。

A 「バランス」ボタンは、システムの構造上、指示欄以外で有効とすることは困難となります。代替案となりますが、以下のような運用にてご検討をお願いいたします。

事前に、『共通設定』>『システム共通設定』>『仕訳操作情報』の「実績金額の更新方法」という区分を、「仕訳の更新直後に反映する」にしていただきますと、指示欄に戻らずとも、仕訳が更新されると実績金額も更新されます。この状態で、二画面起動で仕訳入力を起動していただき、そちらをバランス表示用として使用する運用をご検討ください。

なお、『仕訳操作情報』の「実績金額の更新方法」は、全社共通情報と担当者別情報がございますので、事務所の運用方法に合わせて設定をお願いいたします。

法定調書

Q-25 (NX △)

「退職手当金等受給者別支払調書合計表」を電子申告できるようにしてほしい。

A 新規調書への対応に際しましては、調書の入力・印刷、合計表の入力・印刷、計算処理、調書チェックリストの整備、電子申告対応など、対応すべき業務

が多岐にわたるため、一定の対応期間を要する見込みでございます。

今後の開発計画を策定する際には、当該調書への対応についても検討させていただきます。

給与計算

Q-26 (NX △)

届出作成プログラム：日本年金機構 Ver リリースにすぐに対応してほしい。対応するまで時間があいて不便がある。

A システムに影響のある仕様変更につきましては、基本的に早期対応を行っております。このたびご不便をお掛けした点があったとのことで、今後はさらに早期対応が行えるよう検討を進めてまいります。

Q-27 (NX ■)

計算該当者が〇人の月があるときに、一括計算の実行ができないために、次月への更新ができない場合について、FAQによる対処法は、「架空の社員を登録したうえで一括計算を行う」と記載されていましたが、架空社員の登録はせずにもっとシンプルな方法を可能にしてほしい。

A 毎月の給与計算につきましては、対象社員が1名もない状況はシステム設計上想定しておりません。そのため、計算処理は必須の前提となっております。

大変お手数をお掛けいたしますが、従来通り「架空の社員を登録いただく運用」にてご対応くださいますようお願い申し上げます。

Q-28 (NX ○)

社員登録時、生年月日から介護保険の対象者判定をしてほしい。

A 『会社基本情報』[健保 / 厚生 / 基金]の「新規社員の介護判定」にて「給与対象者判定する」とすることにより、新規社員登録時に「生年月日」をもとに介護保険判定を行います。こちらの機能をご使用ください。

Q-29 (NX ■)

給与の電子明細の項目を増やしてほしい。

A 明細書のパターンは専用紙等の制限がありますので、出力項目数は拡張できません。

こうしたご要望にお応えするために「A4(内訳)」の明細書をご用意しております。内訳部分に多数の項目を出力できますので、こちらのご使用をご検討ください。

相続税申告書

Q-30 (NX ○)

財産評価明細書の一般動産及び船舶の経過年数について、次年に更新されたデータの基準日(課税時期)を変えた際に、一括計算で経過年数も自動で再計算されるようにしてほしい。

A 令和7年8月7日ご提供の令和7年分評価用システムにて『データ基本情報』の「評価(課税)時期」から経過年数等を更新できるようにしました。

「評価(課税)時期」を変更した後に、『評価明細書入力』を起動すると表示される日付・期間の更新確認メッセージで経過年数等を更新できます。

また、『評価明細書入力』> [課税時期更新(R)]ボタンをクリックして、更新することも可能です。

所得税確定申告書

Q-31 (NX ■)

申告書等入力-医療費控除明細入力-電話番号(辞書)入力後-「取込の対象とする項目を保存しました。保存した内容は次の初期値となります。」毎回表示されないようにしてほしい。

A 《電話番号検索》の「取込条件を保存する」のチェックをはずして取込操作を行っていただくと、該当のメッセージは表示されません。

顧問先システム

Q-32 (NX ■)

銀行連携時の複合仕訳に対応してほしい。他社ソフトでは対応できている。

A 明細取込後の仕訳作成画面で行追加が行えます

ので、そちらで複合仕訳の作成を行っていただく運用をお願いいたします。

Q-33 (NX ■)

顧問先側で手当項目の追加や計算方法の設定ができるようにしてほしい。

A 項目設定は重要かつ複雑な作業となるため、事務所側の NX-Pro 給与計算にて設定を行い、その内容を顧問先側の iCompassNX 給与 へ反映していただく運用をお願いしております。

顧問先側で重要な設定を誤ってしまった場合、事務所側で把握できない可能性がございます。そのため、誠に恐縮ではございますが、当該部分については弊社での対応予定はございません。何卒ご了承ください。

なお、顧問先様にて上位システムである ACELINK NX-CE 給与であれば、項目設定機能が搭載されており

ますので、複雑な処理にも対応可能です。ACELINK NX-CE 給与のご利用もぜひご検討ください。

Q-34 (NX ■)

常に事務所側で明細等の確認ができるようにしてほしい。

A 双方で同時に登録を行うと同期が取れなくなるため、当システムでは 入力権利の考え方 を採用しております。そのため、入力権利がない方による処理は、原則としてご利用いただけません。

なお、代替機能として データセンター運用 をご利用いただくことで、入力権利を変更することなく「参照モード」で明細書をご確認いただけます。最新のデータ状態を確認する際にはダウンロードが必要となります、もしよろしければこちらの運用をご検討ください。

システム開発委員会

「知って、使って、活用しよう！ ユーザーと育てる会計システム研修会」を開催しました

令和7年10月23日（木）、九州ミロク会計人会 システム開発委員会主催による研修会をMJS福岡支社で開催しました。

講師にはシステム開発委員長の山口直孝氏、システムのサポートとして MJS 福岡支社課長の木村亜樹子氏をお迎えし、ハイブリッド形式で実施。会場参加7名、Web 参加57名、計 35 事務所 64 名の皆様にご参加いただきました。

本研修では、会員事務所から寄せられたシステム改善要望をもとに、実際に改善された事例



や、現行システムで代替可能な運用方法、対応が困難な要望への理由などを詳しく解説が行われました。

毎年多くの要望をいただいており、「九州の風」にも回答を掲載していますが、今回はその内容をより深くご理解いただくことを目的とした研修会を開催することができました。

今後もシステム開発委員会では、MJS システムのユーザーの皆様の声をもとに、より良いシステムづくりに努めてまいります。

（システム開発委員会 西山 勝）

私は、絵を描く事が苦手です。美術館も学校という教育現場での鑑賞しか経験がありませんでした。ですが、仕事と育児に追われる日々を送りながら、最近自然と美術館へ足を運ぶ機会が増えました。

私の住んでいる地域は、徒歩圏内に県立美術館や県立図書館・博物館等教育に適した施設が設けられています。美術品を子ども達の身近に感じてほし



何気ない日々に感謝

◆宮崎地区会 藤田歩

いという親心がきっかけでしたが、いつしか私自身がそれを求めている事に気づいたのです。心に余裕を持って育児を楽しみたいという純粋な気持ちが芽生えています。今では子ども達も美術品に興味を持ち、それぞれの才能を開花させているところです。育児から学ぶ事が多く、私自身も成長させてもらっています。一日の仕事を終え、子ども達との時間を楽しみながら眠りにつき、また素晴らしい一日の始まりである「朝」をとても大切にしています。

また、苦手だった読書の時間を隙間時間に取るようになりました。こちらのきっかけも、子ども達です。読書の楽しみを早いうちから感じてもらいたいと思い、子ども達に県立図書館の利用者カードを作りました。自分のカードを作れた喜びが、図書館へ通う後押しとなり、今では毎日家族で読書をする時間をとっています。スマホ時代ですが、電車の中バスの中で読書する自分に酔いしれる何気ない日々に感謝しています。(笑)

編・集・後・記

昨年の第49回全国統一研修会せとうち広島大会の挨拶で、地元の先生が日の入りをぜひ見てほしいと言われたので、楽しみに分科会が終了してすぐに駆け付けたが残念ながら間に合わなかった。しかし翌朝早起きしたら、きれいな日の出を拝むことができた。

その後平和記念公園に行き、ボランティアガイドさんが名前もわからない、名前はわかつているのに引き取り手がない遺骨が納められて

いる所を何か所か案内してくれた。手を合わせることしかできなかつたが、戦争の悲惨さを改めて思い知らされた。

新しい年が、平和でありますように。
(福岡地区会 鉄川さえ子)



令和8年1月以降認定研修開催予定のご案内

『全てハイブリッド開催で、会場受講とWeb受講の選択ができます』

MJSのホームページよりお申込みください。

申込方法

*開催1~2ヶ月前にホームページへ掲載いたします。

① MJSホームページ(<http://www.mjs.co.jp/seminar>)の『セミナー一覧』

あるいは右の二次元コードからお申込みください。

ご不明な点はお問い合わせください。(事務局電話番号:092-481-3285)

② 申込みページで、氏名、メールアドレス等必要事項を入力します。

③ 受付完了のメールが送付されて完了です。

*受付完了メールが届かない場合は、メールアドレスをご確認の上再度お申し込みください。



※九州北部税理士会・南九州税理士会認定申請予定
※日本FP協会継続教育単位認定申請予定

主催:九州ミロク会計人会

	開催場所 (形式)	日時	認定 時間	研修内容	講師等
1	Web研修 & 来場型 開催地:福岡市	令和8年 1月16日(金) 13:30~16:30	3	令和7年分所得税確定申告のチェックポイント ★後日、1週間のアーカイブ配信を予定★	税理士 竹内 秀男 氏 MJS税経システム研究所 客員研究員 税理士法人 竹内会計 代表社員
			概要	この時期、MJS毎年恒例の「確定申告のチェックポイント」解説セミナーです。本セミナーでは、申告業務の基本から誤りやすい事例までを整理し、効率的に申告を進めるためのポイントを解説します。初めて確定申告を行う初心者の職員の皆様から、「もう一度ポイントを確認しておきたい」という所長先生まで、ふるってご参加ください。	
2	Web研修 & 来場型 開催地:福岡市	令和8年 3月26日(木) 10:30~16:30	5	会社の合併・分割をめぐる税務処理 (会社法、会計処理とともに)	税理士 植田 卓氏 MJS税経システム研究所 顧問 植田会計事務所 所長
			概要	法人税法は、会社の合併・分割などの組織再編成に対して、適格・非適格の考え方を基盤に置き、単に、組織再編成が行われた際の課税関係だけに止まらず、組織再編成後における事業年度の所得計算にも影響を与えています。さらに、会社の組織再編成は、あくまで会社法の規定に基づいて実施されなければなりませんから、会社法の規定についても確認しておかなければなりませんし、組織再編成に関する会計処理についても確認が必要です。 今回のセミナーでは、組織再編成のうち合併と分割を中心に、税務処理を確実に理解したうえで、併せて会社法・会計処理についての確認も行います。	
3	Web研修 & 来場型 開催地:福岡市	令和8年 4月 開催予定 13:30~16:30 ※1)	3	令和8年度税制改正の概要解説 ★後日、1週間のアーカイブ配信を予定★	MJS税経システム研究所 客員講師
			概要	本講座では、税理士の主たる顧問先である中小企業及びその役員等に影響を及ぼす項目を中心として、令和8年度税制改正大綱・各省庁からの改正関連資料及び法案等に基づき、改正内容の確認を行います。	

※1) 研修日程は令和8年2月下旬に確定予定です。確定後は当会ホームページにてご案内いたしますのでご参照ください。

■税理士会認定は各税理士会での判断により、認定されない場合もございます。

■Web受講はインターネット環境が必須となります。WEB会議システム「Zoom」を使用いたします。

■税理士会会員および税理士会会員事務所の職員の方でしたら、どなたでも受講できます。

+ 経営者が“相談したくなる”会計事務所へ。新たな経営支援ツール登場!

経営分析プラス

MJS × Hirameki 7

税理士とのコラボレーションにより生まれたAI機能搭載!

顧問先向けのレポート作成をスピーディに!

- 事前設定不要&ボタン1つでカンタン出力
- 会計データと公的統計に基づき生成 AIがコメントを自動作成
- AIコメントやグラフの色を自由に編集可能
- レポートの要約を読み上げる動画も自動作成!

月次AIレポート

年次AIレポート

MJS 株式会社ミロク情報サービス 今すぐ検索! MJS ヒラメキ

MJSはミロク会計人会とともに企業経営をサポートしています。東証プライム上場(証券コード:9928) Hirameki 7はMJSグループのトライベック株式会社が運営するサービスです。